

「平成 23 年度 とやまの竹資源ネットワーク講習会」の実施

1 概要

放置竹林の再生整備と拡大の防止を図るためには、竹資源の地域利用によって竹林を継続的に管理していくことが重要となっています。このため、竹林所有者や竹資源利用団体などからなる「とやまの竹資源ネットワーク」参加者を対象として、竹資源の利用に必要な技術講習や意見交換などを行い、竹資源の活用推進を目指す講習会を下記のとおり開催しました。

2 日時・場所

- (1) 日 時 平成 24 年 3 月 3 日 (土) 9 時 30 分から 12 時まで
(2) 場 所 射水市大門総合会館 6 階 こぶしホール

- 3 参加者数 65 団体 (117 名)
内訳 62 地域 96 名、3 企業 8 名、その他 13 名

4 実施内容等

- (1) 講 義 「中越パルプ工業における竹利用の取組み」
講師 中越パルプ工業(株) 山本 将嗣 氏
「南砺市南蟹谷地区での取組み」
～穂先タケノコ水煮パックの販売など～
講師 南砺市南蟹谷地区 天井 一夫 氏

- (2) 試 飲 富山県産竹茶の試飲

(3) 参加者の主な意見

- ・中越パルプ工業(株)の竹利用事業について、ぜひ活用し、竹林整備につなげてみたい。
- ・竹材の運搬は重労働である。
- ・竹のお茶について、どのように作るのか知りたい。
- ・穂先タケノコの保存方法を知りたい。

5 活動状況



講習の状況



質疑・応答状況



竹茶・試飲の状況